

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念と基本的視点

第1期あいプランにおいて、「子ども・子育て支援法」及び国が示す「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」の理念や子どもの権利条約の意義を踏まえ、基本理念を「育つよろこび 育てる幸せ みんなで子育てするまち 長岡」としました。第2期あいプランにおいても、基本理念を踏襲します。

基本理念に基づき、下記の5つの視点に配慮した基本目標を掲げ、施策を展開します。

【基本理念】

育つよろこび 育てる幸せ みんなで子育てするまち 長岡

【計画策定にあたっての基本的視点】

- (1) 子どもたち子ども・若者の健やかな成長を育むという視点

生まれ育った環境等によって左右されることなく、すべての子どもたち子ども・若者の幸せや健やかな成長を促すとともに、必要な人に必要な支援が届くような取組を進めます。
- (2) 次代の親となる世代を育むという視点

多様な価値観を尊重しながら、やがて親の世代になり自立して生きていくために、自己肯定感を高めることにより、コミュニケーション能力や「人として生きるための力」を育む取組を進めます。
- (3) 親の子育て力を伸ばす親育ちという視点

妊娠から出産・育児まで切れ目のない支援を通して、子育てや子どもの成長に楽しさや喜び・生きがいを感じながら、親として成長することができるような取組を進めます。
- (4) 社会全体で子育て・若者を支援する視点

子育て・若者支援に携わる人材を育成するとともに、子育て・若者支援のネットワークづくりを進め、企業や地域社会全体で子育て世帯等を支援する体制づくりを進めます。
- (5) 仕事と生活の調和により親子の時間を確保する視点

結婚・妊娠・出産しても女性が希望する働き方を続けることができる就労環境を整備するとともに、男性を含めた働き方の見直しを進め、男女がともに働き、ともに子育てできるような取組を進めます。

2 施策体系

基本理念 育つよろこび 育てる幸せ みんなで子育てするまち 長岡

